

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立伊岐佐小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 県学習状況調査の結果は県平均を概ね上回っていたが、学力の2極化への対応が必要である。 いじめの未然防止に学校全体で取り組んでいる。法に基づきいじめの理解といじめ防止の取組みを引き続き進めていく。 体づくり・生活習慣等について育友会と連携した取組みを行っていく必要がある。 業務改善を効果的に行っているが、人事異動があっても仕事の引き継ぎができるように更なる業務改善を行っていく。
2 学校教育目標	確かな学力、豊かな心、健やかな体 ～知・徳・体のバランスのとれた力をはぐくむ～
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の理解と理念に基づいた指導法改善と共に、本校児童の学力の2極化、固定化を解消する指導の質的改善 多様性を尊重し、いじめを許さない学校風土づくり 地域連携行事・地域への貢献活動への積極的参画・参加 教育の質の向上を担保しながらの業務改善

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	・教科の資質・能力や系統性を考えた学習課題の共通理解 ・年に2回以上の授業公開(相互参観)による授業改善	A	・月に1回程度の校内研修・グループでの授業公開・授業改善に取り組んだ。 ・児童に学習に対するアンケートを実施し、その結果をもとに学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師は85%以上であったので学力の向上につながったと言える。	A	・今年度の調査結果からは、学力の二極化の傾向はあまり見られないのではないかと。個に応じた指導を継続して取り組んでいる成果である。自信をもって取り組んでほしい。 ・朝の読書活動に取り組んだり、タブレットの活用を推進したりしてほしい。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業において、①自分ごととして②多面的・多角的なふりかえりを行っている児童70%(振り返り分析)	・お互いの考えを深められるような発問と場の設定の工夫。 ・職員研修において、道徳の価値内容を自分ごととして考え、多面的・多角的に考える指導法の共通理解	A	・振り返りを共有する時間を設けたことで、価値項目を自分ごととして捉え、生活に生かそうとする児童の姿が共有でき、授業の質を高めた。 ・長期休業中に人権教育を重点項目とした道徳の年間カリキュラムを検討し、教材研究を行って、実践した。	A	・地域の人材の活用など、地域との連携を深めてほしい。 ・特別の教科道徳を要として各教科等と連携を図りながら取り組んでいることがわかった。 ・道徳教育のよりよい在り方や日常生活に活かせる授業づくりを考えてほしい。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止に向け、開発的・組織的対応ができていないと回答した教職員80%以上	・「いじめアンケート」(学期1回)の実施 ・「こころのアンケート」(毎月)とQUアンケート(年2回)の実施 ・子どもの困り感に寄り添う児童理解研修会の実施	A	・道徳科や総合的な学習の時間に差別やいじめ、人権について継続的に学習した。なかま宣言やほかほか言葉、をもちあわせで発表することで、「いじめや差別はしない」という気持ちにつながった。いじめ標語や人権標語・人権ポスターの取組みなども行った。 ・心のアンケートや児童理解研(毎週)で気になる子どもの情報を共有した。	A	・SCやSSWなどを効果的に活用するなど、児童や保護者への相談体制も取れていてありがたい。 ・定期的なアンケートやQU調査等での児童の実態把握をはじめ、未然防止、早期発見に努めている状況がわかった。
	◎地域のために役に立ちたいと思う市民性を育む教育活動	◎「出番、役割、承認」のある教育活動を計画的に実施していると回答した教職員80%以上	・地域住民、保護者に対する学校行事等への招待。 ・目的意識をもった地域の行事への参加と地域学習への取り組み。 ・テレビや新聞、学校HPなどでの積極的な広報活動。	A	・地域学習を各学年実践し、地域の一人としての自覚を促したり、地域の方の思いを伝える取組みを積極的に行うことができた。 ・出番、役割、承認のある教育活動を計画的に実施していると回答した教職員80%以上を達成した。	A	・学校全体で相知町小学生マラソン大会や唐津市の太鼓民舞フェスタに参加するなど、各学年に応じた地域学習や交流が伝統的に行われていて素晴らしい。 ・子どもの時の体験は、大人になっても心に残っている。是非続けてほしい。
●健康・体づくり	◎「望ましい生活習慣の形成」に向けて、自律的に生活しようとすることの良さや意識を育む教育活動	○「生活習慣100点運動」で自分のため、あてを達成できたと回答した児童80%以上	・「生活習慣100点運動」の学期1回(5月9月1月)の取組みと結果のメールや学校便り・学級通信等での発信。 ・SNS等の使用についてアンケート調査の実施及び情報教育講演会の実施。 ・むし歯予防、感染症予防、熱中症予防など、発達段階に応じた保健指導を実施。	A	・今年度は「生活習慣100点運動」の実施月を5月9月1月に変更し、長期休み明けに実施することにより保護者と連携したよりよい生活習慣の意識付けをすることができた。全校児童の平均点数は85点で、めあてを達成できたと回答した児童が80%以上を達成できた。 ・年間を通して感染症対策を行った。CO2モニターを教室に設置するなど環境整備を行い、児童自ら関心をもち、対策をとれるよう支援した。	A	・今後も家庭と連携して取り組んで欲しい。生活習慣の定着は極めて大事だと思う。 ・講演会等を開き、保護者の意識を変えていくことも大事だと考える。 ・ゲームや動画視聴の時間制限等のルールについては、PTAと学校の両方で取組んでいくべきだと思う。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・部会の実施、職員会議資料の電子化、事前配布による職員会議60分以内の徹底。 ・学年、教科部会、校務分掌のファイル整理とフォルダ保存の徹底。	B	・職員会議を60分以内に終了することは、8割は達成することができた。協議に時間がかかる内容については、事前の資料配布を確実にし、時間内に終わるように職員間で意識して協議に臨むことができた。 ・サーバー内の各部フォルダの整理については、保存年数が過ぎたものについては、削除を確実にし、軽量化を図ることができた。	A	・人材確保の面からも、業務効率化を推進していくことが大切だと思う。 ・職員の異動があっても、誰でもすぐにわかるようなデータ、ファイル等の整理整頓が望まれる。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目							
重点取組				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容		成果指標 (数値目標)	最終評価		学校関係者評価	
				達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○	○(学校独自重点取組・任意)		○(学校独自成果指標・任意)				

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着にむけて、個に応じた指導の改善や資料提示の工夫 法に基づきいじめの理解といじめ防止の取組み 体づくり・生活習慣等について育友会と連携した取組み
--------------------	--